

緩和ケア通信

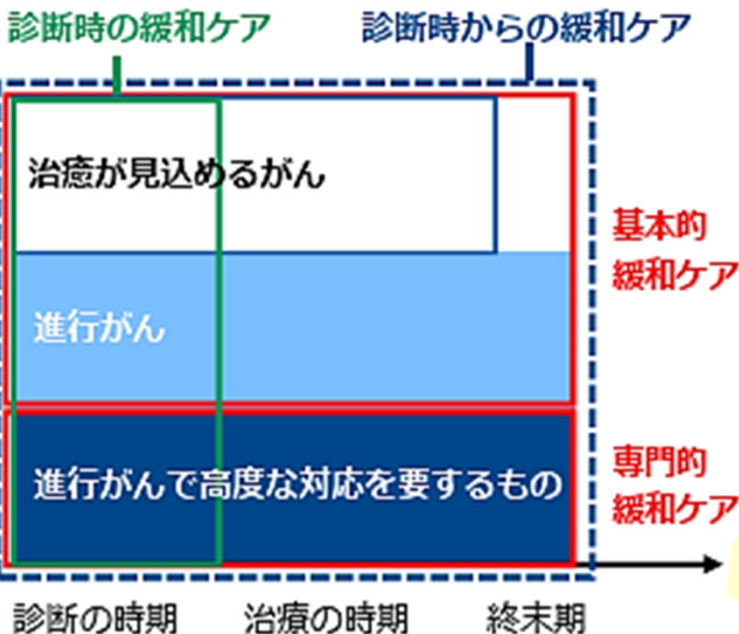
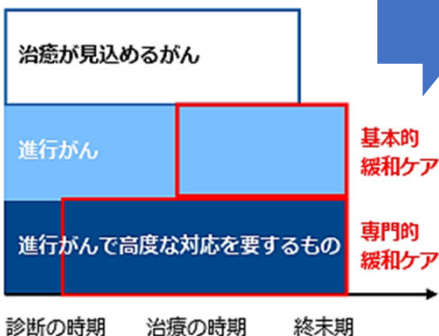
2024年4月15日 緩和ケアセンター発行 Vol.10 緩和ケアセンターHP QRコード



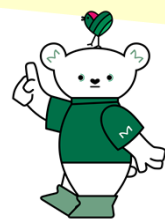
今回は『診断時からの緩和ケア』についてご紹介します

診断時からの緩和ケア

現場の医療従事者がもつ「緩和ケア」のイメージ



- ※基本的緩和ケア：担当医や担当看護師など全ての医療従事者が習得し提供するケア
- 専門的緩和ケア：基本的緩和ケアでは対応が難しい場合に、専門的な知識や技術をもって提供するケア(当院では緩和ケアチーム)



診断時の緩和ケアの重要性

がん患者やその家族等にとって、**診断による衝撃への対応や今後の治療・生活への備えが必要となる重要な時期**

→心理的苦痛や社会的苦痛に対する適切な支援が全ての医療従事者により診断時から提供される必要がある

患者体験調査 平成30(2018)年国立がん研究センター実施

- ・がんやがん治療に伴う身体の苦痛がある……………2人に1人
- ・がんやがん治療に伴う痛みがある……………5人に3人
- ・がんやがん治療に伴う気持ちのつらさを感じる……………3人に1人
- ・がんやがん治療に伴う身体の苦痛や気持ちのつらさにより日常生活を送る上で困っている……………3人に1人
- ・身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分でない……………2人に1人
- ・身体的なつらさがある時にすぐに医療スタッフに相談できない……………2人に1人
- ・心のつらさがある時にすぐに医療スタッフに相談できない……………3人に1人

治療が終わってからではない「緩和ケア」

医療者でも依然として緩和ケアが「治療ができなくなってからの医療」という認識を持つ人が多い

→**緩和ケアの正確な理解や共通の認識を持つための周知**を行う必要がある

みんな病気になって困っているんだね・・・
そういえば、がんだけじゃないよね・・・
医療従事者みんなで関わっていいね！



お知らせ

2024年度第1回三重大学医学部附属病院 緩和ケア研修会 開催します

日時：2024年6月1日(土) 9:00~17:20

詳細は緩和ケアセンターHPからご確認ください。申し込みは右記のQRコードから可能です！

CHECK!

